

新スタッフ紹介

はじめまして。4月より理化担当の学芸スタッフとして大阪市立科学館にお世話になっています、宮丸晶(みやまるあき)と申します。この春まで大学で4年間化学を学んでいました。まだまだ未熟な新社会人ですが、科学館のスタッフの皆さんやボランティアの皆さんに色々なことを教えていただきながら頑張っていきたいと思っています。

私は科学館や美術館などの博物館に行くことが好きで、大阪市立科学館にも何度も遊びに来ていました。サイエンスショーを見て、ミュージアムショップでお土産を買って、プラネタリウムで教えてもらった今日の星座は見えるかな？と夜空を見上げて…科学館に行った日はいつも楽しい思い出でいっぱいだったことを覚えています。思い入れのある科学館でお仕事ができること決まった時はとても嬉しくて、信じられませんでした。

私が化学に興味を持つようになったきっかけは、自宅のリビングの壁に貼ってあった元素の周期表でした。ちょうど元素にまつわるアニメが放映されていて、元素名が歌詞になった主題歌をよく聴いていたこともあり、幼い頃は周期表に並んでいる元素を原子番号1番の水素からどこまで覚えられるか、暗唱して遊んでいました。学校で詳しく教わるうちに元素はそれぞれ異なる性質を持っていて、身近にあるものはすべて様々な元素の組み合わせでできているのだと知り、もっと詳しく化学を学びたい！と思うようになりました。大学では、金属錯体という化合物についての研究をしていました。金属錯体とは、金属原子と色々な性質を持つ分子を組み合わせで作られた一つの作品のようなものです。きれいな色を示す点が特徴的で、触媒としての応用も期待されています。錯体の持つ奥深い世界について、詳しくは今後ご紹介できればと思っています。

現在新型コロナウイルス感染症の影響でサイエンスショーの休止が続いていますが(今日は6月20日)、再開後に皆さんに楽しんでいただけるショーをお見せできるよう、試行錯誤の日々です。目の前で起こる不思議な科学現象へのワクワク、ドキドキを皆さんと一緒に味わうことができる日を心待ちにしています。

私たちの身の回りにあふれている科学の面白さを、サイエンスショーをはじめとする様々な活動を通じてたくさんの方にお伝えしたい！という気持ちを胸に、これから頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



宮丸 晶(理化担当)